



長崎大学大学院

HEALTH SCIENCES, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences

より、高く
知識と経験を

医歯薬学総合研究科保健学専攻

Health

Sciences

大学院設置の理念

保健学は、人の健康支援にかかわるすべての分野を含み、健康の保持増進、病気や障害の予防、病人の治療やケア、障害者のリハビリテーションや社会復帰について深く探求することを目的としている。保健医療専門職者は、健康の保持増進、回復過程の支援にとどまらず、豊かな人間性に基づき、生活の質の保障や倫理的配慮を踏まえた高度な臨床実践能力、広い視野に立ち精深な学識をもつ研究能力及び個性化・高学歴化の社会ニーズに柔軟に対応できる能力が求められている。そのためには、医学的な知識のみならず、保健学、福祉学、心理学、社会学、哲学等の人間並びに人間生活に関わる学際的学問領域の知識が必要であり、さらにその上に、看護学・理学療法学・作業療法学独自の学問領域として、より専門性の高い知識と理論の拡充が望まれる。

保健学専攻の教育理念・目標

人の健康的な社会生活をサポートするスペシャリストを養成することを目的とする。また、様々な健康水準にある人々を対象に、健康回復・維持・増進のために保健・医療活動を、科学的根拠に基づいて効果的かつ効率よく行うことができ、さらに幅広い視点から個人及び組織・社会全体にアプローチしていく実践力と専門職としての学問体系を自ら築く力をもつ人材を育成することを教育目標とする。

長崎大学における学部から大学院へのプロセス

医学部

保健学科

看護学専攻

理学療法学専攻

作業療法学専攻

大学院医歯薬学総合研究科

保健学専攻（修士課程）

看護学

理学療法学

作業療法学

医療科学専攻（博士課程）

看護学分野

理学療学分野

作業療学分野

保健科学分野

自己の専門性を高めることに意欲のある学生及び社会人の入学を期待しています。



基礎理学療法学領域

研究テーマ	指導教員
<ul style="list-style-type: none"> ・虚弱高齢者の心身機能の評価と介入効果に関する研究 ・地域リハビリテーション活動の効果検証に関する研究 	井口茂 教授
<ul style="list-style-type: none"> ・関節拘縮、筋萎縮、慢性疼痛などの病態解明とリハビリテーション医療の効果に関する基礎医学的研究 ・運動器障害に対するリハビリテーション医療の効果に関する臨床研究 	沖田実 教授
<ul style="list-style-type: none"> ・リウマチ性疾患に関する研究 	折口智樹 教授
<ul style="list-style-type: none"> ・急性および慢性呼吸循環障害におけるリハビリテーション医療の効果に関する臨床研究 ・慢性閉塞性肺疾患の早期発見と重症化予防に関する疫学研究 	神津玲 教授
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ外傷の臨床研究、骨切り術後の膝関節動態解析、廃用性骨萎縮、救急搬送患者の動向調査、手術部位感染症とバイオフィルム 	小関弘展 教授
<ul style="list-style-type: none"> ・肉眼解剖学的・基礎医学的手法を用いた関節拘縮や痛みの病態解明およびリハビリテーションの効果に関する研究 	坂本淳哉 准教授
<ul style="list-style-type: none"> ・這い這いに関する発達学的検討 ・表面筋電図を用いた運動学的研究 	鶴崎俊哉 准教授
<ul style="list-style-type: none"> ・がんリハビリテーションに関する臨床研究およびモデル動物を用いた基礎研究 ・物理刺激によって廃用性筋萎縮を予防・治療する方法の開発 	中野治郎 准教授

理学療法学分野 Physical Therapy

運動器系障害、呼吸・循環器系、小児発達系障害や高齢者の障害予防を主体とした理学療法学問領域における基礎及び臨床研究・教育を推進し、優れた研究・教育者を育成します。加えて、わが国の超高齢化社会に伴うリハビリテーション医療の社会的ニーズに貢献できる高度専門職業人としての理学療法士を育成します。これらの基礎および臨床理学療法学領域における学問体系を確立することによって、その成果を社会に還元することを教育理念としています。したがって、自己の専門性を高めることに意欲のある学生及び社会人の入学を期待しています。



学術協定を締結している釜山カトリック大学との国際学術交流の風景



臨床理学療法学領域

社会的ニーズに貢献できる高度専門職業人としての理学療法士を育成します。

作業療法学

幅広い見識の上により高度化した専門知識や技術の研鑽意欲がある方の入学を期待しています。



リハビリロボット・工学部との共同研究

研究テーマ	指導教員
・精神障害者のリハビリテーションに関する研究	田中 悟郎 教授
・神経生理学的手法を用いたリハビリテーションのトランスレーショナルリサーチ ・リハビリテーションの介入研究 ・医工連携によるリハビリテーションの評価・介入機器の開発	東 登志夫 教授
・摂食機能障害の評価と訓練に関する研究	東嶋 美佐子 教授
・トラウマティック・ストレス(災害・放射線/緩和)に関する精神的ケアに関する研究 ・プライマリ・ケアにおける精神障害に関する研究	中根 秀之 教授
・発達障害児・者の障害理解または支援に関する研究	岩永 竜一郎 教授
・認知症患者の高次脳に関する研究	佐藤 克也 教授
・作業・運動時の生理機能に関する研究	村田 潤 准教授

作業療法学分野 Occupational Therapy

身体・精神・発達障害の学問領域を中心に、3領域に共通した基礎学問やさらに高度化した専門領域の研究体制を準備しています。これらの研鑽により優れた研究・教育者を育成すると共に、社会の要請に対応できる高度専門職業人を育成することを理念としています。幅広い見識の上により高度化した専門知識や技術の研鑽意欲がある方の入学を期待しています。



論文発表
世界 DCD 学会
フランス・パリにて



学習プログラムにおける
当事者との交流

社会の要請に対応できる高度専門職業人を育成することを理念としています。

Occupational

・呼吸疾患に関する研究
・感染症疾患に関する研究

石松 祐二 教授

・周術期合併症に関する研究
・がん治療に関する研究

澤井 照光 教授

・慢性病患者の療養生活に関する研究
・睡眠行動に関する研究

黒田 裕美 准教授

・慢性期にある人のセルフマネジメントに関する研究

松浦 江美 准教授

・高齢者のメンタルヘルスに関する研究
・医療、介護従事者のエイジズムに関する研究

吉田 浩二 准教授

関連諸機関と連携をとりつつコーディネイネイト
できる高度な実践能力を有する人材を
育成することを目的としています。



勉強会の様子

看護実践科学分野

Nursing

看護実践科学分野では、看護の専門職として研究的な視点を持ち、科学的根拠に基づく判断と高度な実践能力を有する人材を育成することを目的としています。

【がん看護専門看護師養成コース】がんに関する高度な知識と判断力をもち、複雑で解決困難な看護問題をもつ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供することができる専門看護師を養成します。本コース修了者は日本看護協会認定のがん看護専門看護師認定試験受験資格取得できます。



第3回がんリハ研究会



公開審査会

社会の要請に対応できる高度専門職業人を育成
することを理念としています。

様々な年齢層および健康レベルにある人々の健康水準の向上に貢献できる人材を育成する。



研究テーマ	指導教員
・社会的不利な条件下にある人々の健康水準の改善に係る研究	大西 真由美 教授
・グローバル化に伴う保健医療福祉専門職の国際移動に関する研究 ・グローバル化、多文化共生社会と健康に関する研究 ・健康・病気に関する社会学的研究	平野 裕子 教授
・社会疫学、保健統計学、地域保健学、国際保健学に関する研究	本田 純久 教授
・地域住民の健康づくり、QOL、地域社会活動に関する研究	中尾 理恵子 准教授
・在宅看護に関する研究 ・地域連携に関する研究	大町 いづみ 准教授



骨密度測定



健康教育

公衆衛生看護学分野 Public Health

時代と共に変化し、多様化する社会において、地球規模（グローバル）の動向や健康課題と、地方・地域（ローカル）の動向や健康課題の相互の関係性および多角的なネットワーク構築といった“グローバル”な観点から、様々な年齢層および健康レベルにある人々の健康水準の向上に貢献できる人材を育成する。

公衆衛生看護学は、看護学を基盤とする個人・家族へのアプローチと、公衆衛生学を基盤とする集団・組織・地域へのアプローチを用い、総合的に人々の健康改善および健康水準の向上に寄与するための研究を行う。



WHO(世界保健機構)

総合的に人々の健康改善および健康水準の向上に寄与するための研究を行う。



新生児訪問

いでん
遺伝の木



地域に貢献できる質の高い看護実践のできる人材や国際的視野で健康支援ができる人材を育成することを目的としています。

研究テーマ

指導教員

・新生児/乳児の睡眠・覚醒行動に関する研究
・妊娠～産褥期の睡眠に関連する研究
・ウイメンズヘルスと睡眠行動に関する研究
・周産期のエビデンスにもとづいたガイドラインの作成

江藤 宏美 教授

・リプロダクティブヘルスに関する研究
・助産の文化・変遷に関する歴史研究

大石 和代 教授

・助産ケアに関する研究

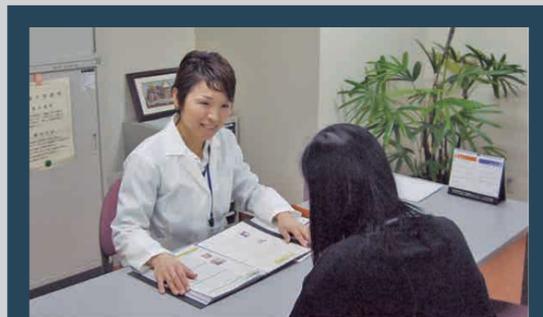
永橋 美幸 准教授

・小児看護に関する研究
・障害児とその家族支援に関する研究
・遺伝看護に関する研究

森藤 香奈子 准教授

リプロダクティブヘルス分野 **Reproductive**

看護師・助産師を養成するためにリプロダクティブヘルス/ライツの視点をもった健康支援、子どもの成長・発達支援、家族支援方法を更に高め、地域に貢献できる質の高い看護実践のできる人材や国際的視野で健康支援ができる人材を育成することを目的としています。リプロダクティブヘルス分野には、修士論文コースの他に、遺伝看護・遺伝カウンセリングコース、助産師養成コースが開設されています。



遺伝カウンセリング

【遺伝看護・遺伝カウンセリングコース】遺伝的問題を有する人々への看護ケアやあらゆる選択において、自律的に決定できるよう、遺伝医学的判断に基づいた情報提供、カウンセリングを実践できる看護職を育成します。認定遺伝カウンセラー受験資格を取得できます。

【助産師養成コース】科学的根拠に基づいて自立して活動できる、またリプロダクティブヘルス向上のための新たな知見や技法を開発できるリーダー的助産師を養成します。助産師国家試験受験資格および受胎調節実地指導員講習修了資格を取得できます。

科学的根拠に基づいて自立して活動できる、またリプロダクティブヘルス向上のための新たな知見や技法を開発できるリーダー的助産師を養成します。



Reproductive

入試情報

■ 学生募集・入試

出願期間：毎年8月頃

入学試験：毎年9月頃

※出願前に、出願資格審査が必要になる場合があります（毎年7月～8月頃）

■ 保健学専攻（修士課程）入学定員

修士論文コースおよび専門看護師コース：12名程度

助産師養成コース：8名程度

■ 入学者選抜方法

学力試験（英語）、小論文及び面接により総合的に判断する

入学料・授業料・奨学金

長崎大学医歯薬学総合研究科

URL: <http://www.mdp.nagasaki-u.ac.jp/admission/index.html>

お問い合わせ

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（保健学科担当）

〒852-8520 長崎市坂本 1-7-1

phone: 095-819-7900（番号案内）

fax: 095-819-7607（保健学科事務分室）

URL: <http://www.mdp.nagasaki-u.ac.jp/index.html>

その他の情報

学部教育および博士課程については、
下記のサイトをご参照ください。

医学部保健学科（学部）
<http://www.am.nagasaki-u.ac.jp/>

保健学専攻（博士課程）
<http://www.am.nagasaki-u.ac.jp/rehabilitation/index.html>

長崎大学大学院
医歯薬学総合研究科 保健学専攻

campus map.



長崎大学医歯薬学総合研究科（保健学科担当）

〒852-8520 長崎市坂本 1-7-1

phone: 095-819-7900 (番号案内)

fax: 095-819-7607 (保健学科事務分室)

URL: <http://www.mdp.nagasaki-u.ac.jp/index.html>